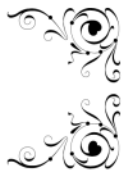




## ～ 中小企業の海外展開をサポート ～

# 『海外展開支援セミナー』を開催しました



2月24日(月)、舞鶴商工会議所及び、舞鶴市、日本政策公庫舞鶴支の主催により『海外展開支援セミナー』を舞鶴市商工観光センター4階、展示交流室で開催いたしました。

これは、昨年9月に京都府北部の中小企業、農林水産業等の海外展開、販路拡大に対し、より効果的な支援、サポート等をおこない、地域経済の発展と京都舞鶴港の利用促進を図るために、北部の行政、商工団体、金融関係や、中小企業基盤整備機構、JETORO等関係機関が連携し発足した「京都北部地区海外展開支援ネットワーク」の関連事業として実施したものです。

セミナーの第1部では、中小企業基盤整備機構から海外展開を考えるにあたってのリスクや海外事情、

支援施策の説明を受け、また、JETOROからも支援施策の説明いただきました。

第2部については、北部地域の中から実際に海外展開に取り組んでいる企業2社から事例の報告を受けました。

今後も、当ネットワークでは、海外展開に対する個別支援や、情報の提供、支援セミナー、イベント等を実施してまいります。

当所会員のみなさまにおきましては、当所事務局が窓口となりますのでお気軽にお声掛けいただき当ネットワークをご活用下さい。



## 震災から3年。

全国からの継続的なご支援に深く感謝申し上げます。

東北から全国へ

東北六県商工会議所連合会 鎌田 宏



鎌田会長

日本商工会議所はじめ舞鶴商工会議所会員の皆様方には、震災発生直後から義援金や救済物資の提供、経営指導員の派遣、遊休機械の無償提供など、物心両面にわたるご支援を通じて復興への大きな後押しをいただいておりますことに対し、改めて東北六県の被災地商工会議所を代表し御礼申し上げます。

早いもので、この3月で震災から3年が経過し、被災地の復興も徐々にではありますが目に見える形で進みはじめています。その一方で、地域により抱える課題は異なり、進捗状況にも格差が生まれていることも事実であります。

今もなお約14万人が故郷に帰ることができずにいる福島県では、県民が安心して生活するために最も重要な除染作業が進んでおらず、当該地域の事業者はいまだ事業再開のスタートラインにさえ立つことが出来ない現状です。

また、津波被害の大きかった宮城・岩手両県の沿岸部では、沈下した土地のかさ上げや防潮堤の建設も遅々として進んでおりません。労働力不足・資材価格高騰などの直接的要因に加え、地権者数が膨大なことや、地域によっては区画整理事業の見直しを求める声が高まるなど、時間の経過とともに課題も複雑に変化しており、迅速な対応が求められています。

このような中で、東北楽天ゴールデンイーグルスの日本一達成や、2020年オリンピック・パラリンピックの東京開催決定など、スポーツを通じて被災地が勇気づけられるニュースが続きました。私どもとしても、五輪誘致にあたり東京開催の意義の一つに掲げられた「震災からの復興」が加速的に進むよう、東北が一丸となって復興と福島の再生に尽力して参る所存です。

そのためには経済の復興が不可欠であります。震災で失った販路の回復や風評被害払拭・風化防止という課題の解決に向けて、商談会や交流人口拡大のための事業を実施いたします。地域と企業に活力をもたらす施策を実行し、真の復興のため一日も早く地域経済が再生できるよう、日本商工会議所ならびに全国514商工会議所の皆様のお力添えをいただきながら奔走してまいりたいと存じます。

舞鶴商工会議所の皆様におかれましては、被災地の現状へのご理解と、従前同様引き続きの温かいご支援をよろしくお願い申し上げます。感謝のことばとさせていただきます。